

2023年度カリキュラムマップ  
(機械工学専攻 博士後期課程)

◎ : DPと最も関連がある科目 (一つのみ)  
● : DPと関連がある科目

NO	科目区分	科目ナンバー	授業科目の名称	配当年次	前・後期の別	単位数	知識・理解		思考・判断		関心・意欲		態度			技能・表現	
							DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9		
						必修	選択	自由	当該分野の具体的な製品モデルの設計・解析を行う技術を修得している。	問題の中から自ら課題を設定し、自立て研究計画を立て、研究を実施することができる。	既存の研究・技術を組み立て、新たな技術を創出することができる。	専門分野の先端研究等と自らの研究の比較を通じて、より独創的な研究開発を行うことができる。	独創的で先進的な研究を熱意と忍耐力を持ってやり遂げることができる。	技術者としての社会的責任を自覚し、高い倫理観をもって実験・研究に従事することができる。	同テーマを遂行する学部生・大学院生前期課程等への研究チームリーダーの役割を通じて、当該分野の人材育成に貢献することができる。	機械工学分野の専門知識と高い技術力をもって、独創的で競争力のある製品を開発することができる。	日本の産業界の活性化につながる研究成果を専門分野で学術論文誌に投稿、及び関連分野での国際学会で英語にて発表することができる。
研究科目																	
1		7101	材料力学特別講義A	1	前期	2	◎		●								
2		7201	材料力学特別講義B	1	後期	2	◎		●								
3		7102	工業材料特別講義A	1	前期	2	◎		●								
4		7202	工業材料特別講義B	1	後期	2	◎		●								
5		7103	材料設計・強度学特別講義A	1	前期	2	◎		●								
6		7203	材料設計・強度学特別講義B	1	後期	2	◎		●								
7		7104	機械加工特別講義A	1	前期	2	◎		●								
8		7204	機械加工特別講義B	1	後期	2	◎		●								
9		7105	エネルギー工学特別講義A	1	前期	2	◎		●								
10		7205	エネルギー工学特別講義B	1	後期	2	◎		●								
11		7106	環境エネルギー変換特別講義A	1	前期	2	◎		●								
12		7206	環境エネルギー変換特別講義B	1	後期	2	◎		●								
13		7107	流体力学特別講義A	1	前期	2	◎		●								
14		7207	流体力学特別講義B	1	後期	2	◎		●								
15		7108	航空流体力学特別講義A	1	半期(集中)	2	◎		●								
16		7208	航空流体力学特別講義B	1	半期(集中)	2	◎		●								
17		7109	内燃機関特別講義A	1	前期	2	◎		●								
18		7209	内燃機関特別講義B	1	後期	2	◎		●								
19		7110	熱力学特別講義A	1	前期	2	◎		●								
20		7210	熱力学特別講義B	1	後期	2	◎		●								
21		7111	ビーコルダイナミックス特別講義A	1	前期	2	◎		●								
22		7211	ビーコルダイナミックス特別講義B	1	後期	2	◎		●								
23		7112	人間工学特別講義A	1	前期	2	◎		●								
24		7212	人間工学特別講義B	1	後期	2	◎		●								
25		7113	ロボット工学特別講義A	1	前期	2	◎		●								
26		7213	ロボット工学特別講義B	1	後期	2	◎		●								
論文指導科目							◎		●								
27		7301	機械工学特別研究1	1	前期	2			◎	●							
28		7302	機械工学特別研究2	1	後期	2			◎	●							
29		7303	機械工学特別研究3	2	前期	2			◎	●							
30		7304	機械工学特別研究4	2	後期	2			◎	●							
31		7305	機械工学特別研究5	3	前期	2			◎	●							
32		7306	機械工学特別研究6	3	後期	2			◎	●							
計							12	52	0								

# 機械工学専攻 博士後期課程 カリキュラムツリー

学年	期	知識・理解		思考・判断	関心・意欲	態度			技能・表現	
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	DP8	DP9
		当該分野の具体的な製品モデルの設計・解析を行う技術を修得している。	問題の中から自ら課題を設定し、自立して研究計画を立て、研究を実施することができる。	既存の研究・技術を組み立てて、新たな技術を創出することができる。	専門分野の先端研究等と自らの研究の比較を通じて、より独創的な研究開発を行うことができる。	独創的で先進的な研究を熱意と忍耐力を持ってやり遂げることができる。	技術者としての社会的責任を自覚し、高い倫理観をもって実験・研究に従事することができる。	同テーマを遂行する学部生・大学院生前期課程等への研究チームリーダーの役割を通じて、当該分野の人材育成に貢献することができる。	機械工学分野の専門知識と高い技術力をもって、独創的で競争力のある製品を開発することができる。	日本の産業界の活性化につながる研究成果を専門分野で学術論文誌に投稿、及び関連分野での国際学会で英語にて発表することができる。
3	後									機械工学特別研究 6
3	前									機械工学特別研究 5
2	後									機械工学特別研究 4
2	前									機械工学特別研究 3
1	後	材料力学特別講義 B 工業材料特別講義 B 材料設計・強度学特別講義 B 機械加工特別講義 B エネルギ工学特別講義 B 環境エネルギー変換特別講義 B 流体力学特別講義 B 航空流体力学特別講義 B 内燃機関特別講義 B 热力学特別講義 B ビークルダイナミックス特別講義 B 人間工学特別講義 B ロボット工学特別講義 B		機械工学特別研究 2						
1	前	材料力学特別講義 A 工業材料特別講義 A 材料設計・強度学特別講義 A 機械加工特別講義 A エネルギ工学特別講義 A 環境エネルギー変換特別講義 A 流体力学特別講義 A 航空流体力学特別講義 A 内燃機関特別講義 A 热力学特別講義 A ビークルダイナミックス特別講義 A 人間工学特別講義 A ロボット工学特別講義 A		機械工学特別研究 1						